



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社  
代表者の役職名 代表取締役社長 安 成 政 文  
(JASDAQ・コード番号8747)  
問 合 せ 先 専務取締役管理本部長 多々良 孝之  
電 話 番 号 ( 0 3 ) 3 6 6 7 - 5 2 1 1

平成 29 年 3 月期連結及び個別業績見通しに関するお知らせ

平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結及び個別業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期の業績速報値及び業績の差異

(1)連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
当期実績見込み (平成 29 年 3 月期) (A)	3,536	△470	△384	△441
前期実績 (平成 28 年 3 月期) (B)	4,456	83	114	447
増減額 (A - B)	△919	△553	△499	△888
増減率 (%)	△20.6	—	—	—

(2)個別

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
当期実績見込み (平成 29 年 3 月期) (A)	3,497	△423	△296	△347
前期実績 (平成 28 年 3 月期) (B)	4,283	5	69	382
増減額 (A - B)	△786	△429	△366	△730
増減率 (%)	△18.4	—	—	—

## 2. 差異が生じた理由

### (1) 連結業績見込み

当連結会計年度の我が国経済は、「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」に即した金融政策の継続や、公共投資の進捗などを支えに、穏やかな回復基調ではじまりました。8月には事業規模28兆円超の経済対策が閣議決定され、さらに9月には金融緩和強化のための新しい枠組みである「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が導入され、3月に開催された金融政策決定会合でも、現状の政策を維持することを決定しましたが、景気を押し上げるにはまだ不透明な面もあります。

一方、世界経済は、11月に米国大統領選挙で共和党のドナルド・トランプ氏が勝利を収め新政権への期待感や、堅調な個人消費による米国経済の回復が継続しているものの、英国のEU離脱に伴う先行き不透明感や中国経済の減速により、当面力強さに欠ける状況が続く見込みであります。

このような環境のもとで、商品先物取引の総売買高は1,875千枚(前年同期比6.1%減)及び金融商品取引の総売買高は2,408千枚(前年同期比28.5%減)となり、受取手数料は3,507百万円(前年同期比18.9%減)、売買損益は25百万円の利益(前年同期比78.5%減)となりました。以上の結果、当連結会計年度の業績は、営業収益3,536百万円(前年同期比20.6%減)、経常損失384百万円(前年同期は114百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する当期純損失441百万円(前年同期は447百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)を計上する見込みであります。

### (2) 個別業績見込み

個別業績の対比につきましては、営業収益3,497百万円(前年同期比18.4%減)、経常損失296百万円(前年同期は69百万円の経常利益)、当期純損失347百万円(前年同期は382百万円の当期純利益)を計上する見込みであります。

以 上